

科目 生物分子科学特論Ⅳ（高大接続） (Special Topics in Biomolecular Science IV)

担当教員 生物分子科学全教員

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

生物分子科学に必要な知識・技能について概観し、実験・実習レポートの作成を通じた思考力や表現力を涵養する。併せて主体的・協働的に学ぶ態度を錬成し、生物分子科学科における学修を円滑に開始できるようにすることを目的とする。

<教育目標>

(1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ

<具体的な項目>

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)

【2】 授業計画

No.	内 容
1	プレプログラム1
2	プレプログラム2
3	ポストプログラム1 論理的思考法とは一より良いレポートを書くためにー (1)
4	ポストプログラム2 論理的思考法とは一より良いレポートを書くためにー (2)
5	ポストプログラム3 論理的思考法とは一より良いレポートを書くためにー (3)
6	ポストプログラム4 論理的思考法とは一より良いレポートを書くためにー (4)
7	ポストプログラム5 プレプログラム実習課題に関するプレゼンテーション (1)
8	ポストプログラム6 プレプログラム実習課題に関するプレゼンテーション (2)
9	ポストプログラム7 定量的に考察する力を養うー正しく伝わらない期待値とリスク情報 (1)
10	ポストプログラム8 定量的に考察する力を養うー正しく伝わらない期待値とリスク情報 (2)
11	ポストプログラム9 生物分子科学を学ぶ上で必要な英語・数学のスキル確認
12	ポストプログラム10 プレプログラム課題フォローアップ 分子科学分野
13	ポストプログラム11 プレプログラム課題フォローアップ 分子医学・生理学分野
14	ポストプログラム12 プレプログラム課題フォローアップ 分子生物学分野
15	ポストプログラム13 プレプログラム課題フォローアップ 分子医学・生理学分野

【3】 到達目標

- ・実験実習レポートの作成要領 (IMRAD) が理解できる
- ・科学的・論理的な文章とは何か理解できる。
- ・定量的な思考を行うための方法論の基礎を身につける。
- ・生物分子科学科で学ぶ上で必要な知識・スキルに関する獲得目標を自ら設定できる

【4】 授業概要

本講義は高大接続プログラムとして実施する。2回をプレプログラムの、残り13回をポストプログラムの受講分としてそれぞれ充当する。

【5】 準備学習 (予習・復習) および必要時間

レポートの作成には十分時間をかけるとともに、提出期日を必ず守ること。
提出レポートの内容に関し、プレゼンテーションの準備をすること。(180分を必要とする)

【6】 教科書・参考書・参考資料

特になし。必要に応じて資料等を配布する。
日本語e-learningのためのアカウントを与えるので、積極的に活用すること

【7】 評価方法およびフィードバック

提示課題に対するレポートにより評価する (100%)。レポートを返却し、希望者には評価内容を説明する。

【8】 オフィスアワー

授業開始前後と各教員のシラバスを参照すること

【9】 関連科目

〔予め学んでおくとい科目〕

特になし

〔この科目に続く内容の科目〕

生命科学概論 生物分子科学セミナー I

【10】 その他

集中形式で行うため、講義内容順序が変更になる場合がある。その際は都度アナウンスする。